

さいたま市 バレーボール連盟

沿革・歴史・あゆみ

さいたま市合併時、3市それぞれで活動していたバレーボール連盟でしたが、平成14年に各市の代表者が統一に向けて話し合いを重ね、平成15年に第1回さいたま市バレーボール連盟総会を行いました。従来通りの活動とし、翌平成16年に浦和、与野、大宮3市の連盟がさいたま市バレーボール連盟として、初代三浦光一会長のもと活動を開始しました。登録は、一般男子の部・一般女子の部・ファミリーの部・家庭婦人の部・小学生の部の5部体制総チーム数117で始まり、大会数・大会規模も一気に大きな団体となりました。その後、岩槻市がさいたま市に加わったことで益々エリアが広がりました。

さらに高校生の部も加わり、市民大会を年1回2日間かけて行っています。一般男女の大会にも参加出来るようにしているので、卒業後はOB・OGチームとして活動してくれることを期待しています。

ファミリーの部は、今では当連盟最大の登録数となっています。中学生以上の女性が登録可能なので、親子での参加者もあり、他の部と一味違った楽しい大会となっています。

小学生の部では少子化の影響もあるのか、登録チーム数の減少が気になるところですが、全国大会に岩槻ジュニア・宮原ジュニア・岩槻マイティーズが出場し、岩槻ジュニアは優勝するなど、各チームの今後の活躍が楽しみです。

活動状況・近況

順調に発展し続けてきたバレーボール連盟ですが、令和2年、3年と新型コロナ感染拡大のため活動自粛となり、その間に練習も出来ず残念ながら一部のチームが解散せざるをえない状況が起きてしまい、全体の登録数は若干減少しました。

しかし、今年から感染対策を徹底し、コートチェンジ無し、試合時間短縮などの一部変則的に対応するなど、万全の体制で活動を再開することができました。回を追うごとに参加チーム数が増えているので、少し安堵している状況です。

今後の目標・抱負

新型コロナ拡大前の状況に1日も早く戻し、連盟の活動を周知出来るよう努力したいと思います。特に、オープン参加の市民大会をきっかけに連盟に加盟してもらえれば幸いです。

ホームページにも力を入れて、大会エントリーや過去の大会結果などを掲載しています。今後はチーム紹介を掲載するなどしてたくさんの方々に見てもらい、新規チームの登録や、地域のチームへの加入につなげていけるようさらに充実させ、バレーボール連盟の活動を広げていきたいと思っています。

役員紹介

令和3年～大内敏郎会長・中原文子副会長・阿部孝広副会長・原武好文理事長

